



# さわやか八中

H27 学校だより No.3  
平成 27 年 6 月 1 日  
文京区立第八中学校長  
神保 道隆

## スマートフォンの使い方

4月11日(土)の土曜授業公開で実施したセーフティ教室では、講師の駒込警察スクールサポーターやKDDIの方から携帯電話やスマートフォンの使い方について話をいただきました。

とても便利な機能がたくさんあるスマホではありますが、残念ながら、使い方を間違えると、思いもかけないトラブルに遭遇する可能性が高いものでもあります。生徒だけでなく、保護者の方々もよく使われている「ライン」に端を発したトラブルはその最たる例と言えるでしょう。また、写真など個人情報の扱い方を誤ってしまうと、場合によっては加害者となってしまいうということも学習しました。

ところが、先日、生徒たちが使っている「ライン」に写真などの個人情報が好ましくない状況で掲載されていることが分かり、関係する生徒の指導、及び保護者の方々には正しい使い方の注意喚起を行いました。

昨年のセーフティ教室でも同様の内容を取り上げたのですが、自分のこととして受け止められていない生徒たちがいたことが残念です。

現代生活において、「ライン」「フェイスブック」「ミクシー」などソーシャル・ネットワークワーキング・サービス(SNS)は確かに便利で使い勝手の良いものかもしれませんが、落とし穴があることも忘れてはなりません。八中では、今後も継続して正しい使い方ができる生徒の育成に努力してまいります。

そこで、情報を一つお知らせします。5月23日(土)の毎日新聞夕刊に掲載されていた記事です。タイトルは「スマホ禁止→成績は↑」。内容は、次のとおりです。

.....◇.....◇.....◇.....◇.....◇.....◇.....◇.....

スマートフォンなど携帯電話を学校に持ち込むことを禁じると、成績が低い生徒の学力が大きく向上するとの調査結果を英ロンドン大経済政治学院(LSE)の研究チームが22日までにまとめた。「持ち込み禁止は学力格差を縮めるのに有効だ」と結論づけている。

低年齢層への携帯電話普及が進む日本など先進各国では学業への影響が問題となっており、議論に一石を投げそうだ。

研究チームはロンドンなど国内4都市で16歳の生徒約13万人を対象に、義務教育修了時の全国統一試験の成績を分析した。学力別に5グループに分類し、学校への携帯電話の持ち込み禁止導入前後で比較したところ、最も学力が低い生徒のグループでは持ち込み禁止により、成績の伸びを測る指標が14.23%向上した。これは授業を毎週1時間、余分に受けた効果に相当する。

5グループ平均の上昇率は6.41%だった。高学力グループでは持ち込み禁止後も成績に大きな変化はなく「学力が低い生徒は携帯電話により集中力を乱されやすい」と分析している。

英国では13歳以上の9割超が携帯電話を所持しているとされる。

